

取ませましょう。
みかん、キーウイなどビ
ンCが豊富。食べすぎると使
るようになることがあります。
テラ、プリンなど手作りのも

入る
(3)むし歯菌に対して抗菌作用が働く
むし歯菌がそれ以上増えないようにする

・フッ素洗口
1日1回する方法——歯磨き後実施中
・フッ素入りハミガキ剤
1日3回歯磨きの時フッ素入り

広 報

こうさ



【表紙】甲佐中生徒による妊婦や親の疑似体験「ハロー Baby！」
赤ちゃんに触れて命の大切さを学ぶ

CONTENTS

- 02・巻頭特集 奥名克美甲佐町長就任あいさつ
- 07・こうさの話題 1泊2日野外キャンプ「あつまれ子どもたち」
- 08・町からのお知らせ 平成27年度こうさんもん元気活動
- 12・あゆみだより 「介護予防サポーター」養成講座参加者を募集
- 20・Kosa Style ALT・リアム・ノーランさん(仁田子区)

No.554
September 2015

9

甲佐町長 就任あいさつ



奥名 克美 甲佐町長

元気な甲佐町の創生へ 次の世代へ残す郷づくりを

8月の甲佐町長選挙におきましては、3期目の当選の栄誉をいただき、町民の皆様から感謝を申し上げます。12年ぶりの無投票当選という真摯（しんし）に受け止め、再度4年間、町政を担うという責任の重さを痛感し、あらためて身の引き締まる思いであります。

さて、これまでの2期8年間において1期目では、色々な会議などで皆様のご意見を聞くことから始め、「町政の信頼回復と甲佐町再生」をキーワード

に50項目の政策目標に取り組ませていただきました。2期目には、「元気な甲佐町・信頼回復から飛躍へ」をテーマに33項目の政策目標をお示しして、第6次町総合計画に則って町政発展に努めてまいりました。これからは、これまで以上に広い視野を持って町政に取り組んでいかねばならない時と考えています。おりしも本年は、「地方創生元年」とも言われております。この「地方創生」は、日本創成会議が警鐘を鳴らし

た「西暦2040年には人口が半減して、全国で896自治体、県内45市町村の内26自治体が「社会保障」や「学校」あるいは「公共交通」が維持できない「消滅可能性都市」になってしまう」という危惧からはじまりました。そういった状況にならないために、今から地方を復活させるべく、国や地方自治体、そして民間のさまざまな機関が連携しながら活性化を図ることが重要です。

本町も2040年には若年女性（20・30代女性）の減少率が50・8割と推定され「消滅可能性都市」に分類されており、地方創生に準じて、さまざまな施策を講じていく必要があります。説によると人口減少対策として、これからの10年間で合計特殊出生率1・41を1・80まで引き上げることや30代後半の夫婦の合計年収500万円を実現することなどが挙げられています。

そういった事柄を本町で達成するには、①若者が定住できる雇用の場をいかにして創出あるいは確保していくのか、②子どもを産み育てられる環境をどう整えていくのか、そこには「結婚・出産・子育て」への切れ目ない支援が必要であり、財政的な問題を抱えながらも、どう地域の特色を活かした支援を考えていくのか、いわゆる広義の「子育て支援」に対する取り組みが求められているところです。本町では、これまでも定住促進と子育て支援を基本的な2本の柱として施

策を講じてまいりました。その結果、合計特殊出生率がこの10年間で1・39が1・71まで伸び、その伸び率は県内トップで、しかも全国で第8位に入りました。こうした成果は非常に有効的な手段のひとつと考え、全産業従事者に共通するこの2つの施策を今後更に充実させていきます。

また、今年度に策定する「地方版総合戦略」のほか、第6次町総合計画をさらに具体化させた施策として「再生から創生へ・次世代へ残す輝く郷づくり」をキーワードに40項目の政策目標を掲げたところです。これらには、議員各位からご提言いただいたり、町職員からの政策提案等も一部盛り込ませていただきました。

また、教育制度改正に伴い、町長が教育行政にこれまで以上に関与する機会が増えてまいります。町教育長（町教育委員会）との統一した考えの下、次代を担う郷土愛豊かな子どもたちの育成にも大いに力を注いでまいります。

今後、地域間競争は進みますが、その中でも「甲佐町らしさ」を追求し、「甲佐町に生まれてよかった。住んでよかった」と語り合えるまちづくりに町職員ともども全力で努めてまいります。そして町民の皆様から寄せられた期待に応えるべく、変わらぬ強い信念と情熱をもって、政策目標に掲げた諸施策の実現に全力を尽くす所存であります。引き続きのご指導とご協力をお願い申し上げます。3期目就任のご挨拶とさせていただきます。

更なる甲佐町の発展を目指して 再生から創生へ 次世代へ残す輝く郷づくり

① 活力に溢れるまちづくり

● 県・町道のミッシングリンクの解消、地方創生に向けた幹線町道の整備 ● 企業誘致の受け皿づくりと若者の定着、雇用拡大に向けた企業誘致の推進 ● 空家問題の解消と定住促進に向けた利活用の更なる検討 ● 中山間地域総合整備事業（3期）による農業基盤の整備推進 ● 農業振興に向けた各種支援 ● やな場集客力強化と新たな観光資源発掘と整備検討 ● 国と町との連携による総合グラウンドや広域交流型施設建設の検討 ● 商店街の活性化・「こうさんもんブランド」の販売促進と地方創生交付金の有効活用 ● 若手起業家などのまちづくり活動への支援検討



② 安心・安全のまちづくり

● 乙女地区の第4水源確保による新たなライフライン整備と宮内地区の水道問題の完全解決 ● 市街地越水対策の更なる強化 ● 消防団組織再編による機動力の強化 ● 自主防災組織率100%化・避難誘導マニュアル化 ● 町営住宅の計画的整備（上揚住宅） ● 町有施設の自然エネルギー化（太陽光発電）拡張 ● 小型合併浄化槽の普及を更に推進（10年後の普及率75%を目標） ● 定住促進に向けた各種助成制度の拡充 ● 防犯灯の計画的整備 ● ICTによる防災・安全体制の情報連携システムの構築



③ 健康と人を育むまちづくり

● 新教育制度の下、教育大綱策定と総合教育会議の充実、教育委員会との連携強化 ● 予防医療・医療費削減に向けた健診率の向上と拠点施設の改修・医療機関無受診者への表彰等の検討 ● 買い物難民対策 ● 子育て支援各種施策（子ども医療費助成・保育料の軽減・幼稚園就園助成など）の継続実施 ● 高齢者の生きがい対策推進 ● 学童保育事業の対象地域拡大 ● 甲佐高校の特色ある学校づくりに対する町の支援の確立 ● 不登校0・学力熊本県一プロジェクト実施 ● 英語力の強化と道德教育の推進・郷土愛の育成 ● 龍野小学校の増改築工事着手



④ 協働で支えるまちづくり

● 「地域おこし協力隊」制度の継続とこうさんもん支援サポーター制度により、新たな地域の活性化 ● 町営施設・イベント参加申し込みのインターネットオンライン化 ● 地方創生（地方版総合戦略にのった各種施策の実現） ● 役場職員の人事評価制度の確立 ● 環境衛生施設など（一部事務組合）の広域化に向けた取り組み強化 ● 指定金融機関の導入 ● 第3次行革大綱策定と推進 ● ふるさと納税拡充による自主財源増 ● 各地区郷土芸能の保存・伝承 ● 宮内社会教育センターの改修 ● 町有地や遊休資産の有効活用（住宅用地・企業誘致等用地）





10月から国民1人1人に 12けたのマイナンバー（個人番号）が通知されます



マイナンバーとは

国民1人1人が持つ12けたの個人番号のことです。マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）は、複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるという確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民によって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤です。

マイナンバーの3つのメリット

国民の利便性の向上

- ・手続きに必要な書類が減り、行政手続きも簡素化
- ・行政機関の自分の情報を確認することができ、お知らせの受取りもスムーズに

行政の効率化

- ・行政事務が効率化され、手続きが正確かつ迅速化
- ・被災者台帳の作成などにマイナンバーを利用して迅速な行政支援

公平・公正な社会の実現

- ・負担を不当に免れることや給付金などの不正受給の防止
- ・マイナンバーの活用により、行政サービスの需給状況を把握

今後のスケジュール

10月以降

住民票を有する人全員に、12けたのマイナンバーを記載した「通知カード」を住民票の住所に送付します

平成28年1月

マイナンバーの利用開始（社会保障や税、医療保険の手続きなど）。申請者へ「個人番号カード」を交付します

平成29年1月

「マイナポータル」（自分の情報をいつ、誰が、なぜ利用したのか確認できる個人ごとのポータルサイト）の運用開始

- ※「通知カード」は、住民の皆さんにマイナンバーを通知するもので住民票を有するすべての人に郵送されます。
- ※「個人番号カード」は、本人の申請により交付される顔写真付きの身分証明書として利用できるICカードです。



住民票の住所地以外の居所にお住まいのみなさまへ

10月から送付するマイナンバーの「通知カード」は住民票の住所に送付しますが、下記の人は現在お住まいの住所（居所）への送付が可能です。

- ・東日本大震災により被災し、住所地以外の場所へ避難している人
- ・ドメスティック・バイオレンス（DV）などで、住所地以外の場所へ移動している人
- ・医療機関・施設などへの長期入院・入所が見込まれ、かつ、住所地に誰も居住していない人
- ・上記以外の人でやむを得ない理由により住所地においての受け取りができない人

※送付を希望する人は、9月25日（金）までに必着で、申請書と必要書類を住民票のある市区町村に郵送または提出してください。

申請書類などの詳しいことはお問い合わせください。



マイナンバー制度についてのお問い合わせ先 町企画課 ☎096-234-1154（内線236）✉k1g104@town.kosa.lg.jp
「通知カード」についてのお問い合わせ先 町住民生活課 ☎096-234-1113（内線101）✉k1g106@town.kosa.lg.jp

全国大会・九州大会へ出場して躍動

テコンドー



田上美悠選手
(下横田区・
龍野小3年)

7月26日(日)、長野県で開催された全日本ジュニアテコンドー選手権で小学3年の部で3位入賞。

陸上競技



渡辺大智選手
(山出区・
国府高3年)

7月29日(水)～8月2日(日)、和歌山県で開催されたインターハイ陸上競技3,000[㍓]障害に出場。9分17秒75のタイムで予選組5位。

野球



北隆照選手
(津志田区・
甲佐中3年)
北球真選手
(同区・
同中1年)

7月24日(金)～28日(火)、宮崎県で開催された九州連盟創立35周年記念全国選抜野球大会に出場し活躍。

陸上競技



岡崎亮選手
(下横田区・
甲佐中3年)

8月9日(日)～10日(月)、沖縄県で開催された九州中学校体育大会陸上競技の共通800[㍓]に出場し2分11秒89のタイムで8位入賞。

空手道



霍本萌選手
(上豊内区・
九州学院中3年)

8月21日(金)～23日(日)、香川県で開催された全国中学生空手道選手権女子団体組手に出場し同中がベスト16に入賞。

水泳競技



田上大翔選手
(下横田区・
甲佐中3年)

8月4日(火)～6日(木)、長崎県で開催された九州中学校体育大会水泳競技の400[㍓]自由形に出場し、予選全体の9位。

ボート競技



日隈さつき選手
(芝原区・
学附高2年)

7月30日(木)～8月3日(月)に兵庫県で開催されたインターハイのボート女子かじ付きクォドルプルに出場し、同高が準決勝に進出。

水泳競技



一圓舞選手
(津志田区)

7月にアメリカで開催された2015年スペシャル・オリンピックス夏季世界大会水泳25[㍓]自由形で銀、同背泳ぎで銅メダルを獲得。



▼10か月児教室に訪れた赤ちゃんとお手遊びや絵本などで触れ合う中学生



甲佐中学校（加藤敬之校長 250人）の生徒29人が参加した体験教室では、10か月児教室で訪れた赤ちゃんたちとの触れ合いやお母さんたちとの交流で、赤ちゃんを持つ保護者の疑似体験を行いました。

妊婦の疑似体験では、約7キロの重さがある妊婦体験シミュレータを装着した状態で日常の動作を体験。普段の何気ない動作が妊婦にはとても負担になることを体感し、中学生は「いつもできることができなくて大変だと分かりました」と感想を述べました。

妊婦や親子の疑似体験

甲佐中学生の子育て体験「ハロー Baby!」

8月7日（金）町総合保健福祉センターで、中学生を対象とした子育て体験「ハロー Baby!」が開催されました。

同教室は、思春期の子どもたちに妊婦の疑似体験や赤ちゃんとの触れ合いを通じて親子の愛情、子育ての楽しさや苦労、命の重さなどについて考えてもらうことを目的に毎年夏休みを利用して町総合保健福祉センターが主催するものです。

みんなで元気よく体操

7月31日（金）「ラジオ de くまモン体操」

7月31日（金）甲佐小学校で「ラジオ de くまモン体操」が実施されました。

ラジオ局の夏休みの特別企画として県のPRキャラクター「くまモン」と一緒に早朝に体操をし、子どもたちに規則正しい生活を過ごしてもらうことを目的で実施。

同小校庭に集まった町内の約260人の子どもたちや保護者は、ラジオの放送に合わせて大きな声であいさつし、「くまモン体操」のリズムに合わせてくまモンと一緒に元気よく体を動かしました。



▲くまモンと一緒に元気よく体を動かす子どもたち



▲4日間で楽しく交流を深めた子どもたち

本町の中学生と国際交流

台湾台南市の高校生が本町を訪問

8月10日（月）～13日（木）台湾の台南市の高校生が本町を訪れました。

本町の国際交流を目的に、甲佐町国際交流協会（蔵田勇治会長）が主催。台南市立土城高級中学校の生徒10人が本町の中学生などと交流しました。

一行は、町役場での歓迎式に出席し本町の中学生と対面。有安の正法寺でお茶を体験したり、山都町の通潤橋や熊本城の見学をしたりしました。2日目の宿泊先の阿蘇の青少年自然の家では、親睦を深めるゲームなども行い、参加者は「かけがえのない思い出がたくさんできてうれしかったです」と話しました。

健診受診で元気に長生き

100歳の佐藤義治さん（仁田子区）

8月21日（金）、町総合保健福祉センターで後期高齢者健診が実施され、今年100歳の佐藤義治さん（仁田子区）が受診されました。受診を続け健康に100歳を迎えたことを記念して、町職員から手作りのくす玉とメッセージカードが贈呈されました。

100歳以上での健診受診は佐藤さんが町内初。健診が健康づくりにつながることをPRするために町職員が企画。佐藤さんは、「健診を受けて健康を保ち、もっともっと長生きしたいです」と笑顔で話しました。



▲毎年健診を受診して健康を保つ佐藤義治さん（写真右）



▲道の駅宇土マリーナで交流を楽しむ参加者たち

交流会でカップル誕生

8月9日（日）第2回ふれあい交流会

8月9日（日）第2回ふれあい交流会を開催しました。同会は、結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供することを目的として、甲佐町産業後継者育成対策協議会（宮本修治会長）が主催。現在男性35人、女性166人が同協議会に登録し、同会を通して昨年度は合計22組のカップルが誕生しています。

第2回となる同交流会には、29〜43歳まで独身男女16人が参加。道の駅宇土マリーナや三角西港を会場に交流しました。散策やバナナアートを男女ペアを交代しながら楽しみ、交流の結果、4組のカップルが誕生しました。

自然と触れ合いはぐくむ心

野外キャンプ「あつまれ子どもたち」を開催



▲（公社）日本シェアリングネイチャー協会の福本さんの指導の下、川平キャンプ場付近の林の中でネイチャーゲームを楽しむ子どもたち

8月4日（火）～5日（水）川平キャンプ場で、野外キャンプ「あつまれ子どもたち」が開催されました。

1泊2日のキャンプを通して、自然に親しむとともに、共同生活を行うことで団体行動の大切さを体験することなどを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議（奥名克美会長）と町教育委員会が主催。町内の小・中学生23人が参加しました。

子どもたちは、各班に分かれて協力して行動。1日目はテントの設営や竹のはしづくりを体験。昼食には、飯ごうで炊いたご飯でカレーライスを調理し楽しく食べました。午後、（公社）日本シェアリングネイチャー協会の福本壽太郎さんの指導の下、自然の木や草を使ったネイチャーゲームを体験。森の中に隠された人工物を捜したり、額縁を使って自然の中にある美しい風景を切り取る「森の美術館」で自然に触れ合いました。

2日目の野外料理では、焼きそば作りに挑戦。慣れないかまどでの調理に悪戦苦闘しながらも、楽しく調理しました。

こうさんもん元気活動 採択状況について



あゆまつり「子どもみこし」に参加した大町区

■ 20行政区16事業の計画が採択

平成27年度から町では、地域コミュニティの活性化や地域力の向上を目的に、住民の知恵や工夫を生かした地域が元気になる活動を町職員（「元気活動サポーター」）が支援しながら実施する「こうさんもん元気活動」推進事業を展開しています。

昨年度は、上豊内区で同モデル事業「ふるさと再発見地図づくり」を実施し、今年度から対象を全行政区に広げ本格実施。活動を希望する行政区からの申請内容が審査会にかけられ、審査の結果、下表のとおり20行政区16事業が採択されました。行政区ごとにさまざまに工夫した元気活動に取り組んでいます。

●平成27年度こうさんもん元気活動事業採択決定

| 行政区名 | 活動内容 |
|----------|--|
| 谷内区 | はまどんの湧水とホテルが棲む坂谷川の環境保全による景観の整備と活動に伴う地域住民同士の交流 |
| 西寒野区 | 国道側面、緑川河畔の草取り、桜並木沿いに菜の花の種植えなどの作業を行い景観整備。子どもから高齢者まで全区民で活動を行うことで区民の交流を図る |
| 下豊内区 | 陣ノ内館跡、薬師堂、防空壕など地域の史跡を活用した散策コースの整備。陣ノ内館跡の休憩場所の整備 |
| 岩下一区 | 「大井手川の環境を守る」：世代間交流を図りながら地域の環境保護に取り組む |
| 緑町区 | 旧来からの区民と新たな区民との交流促進を図り住みやすいまちづくりを目指して秋祭りを企画実施 |
| 仁田子区 | 地域に受け継がれている「地藏祭り」の拡充。ステージイベントの充実、竹細工作りなど世代間交流のコーナー設置など、誰もが参加しやすい環境を作る |
| 大町区 | 10年ぶりにあゆまつりの「子どもみこし」への参加。地域での神輿づくり、祭りへの参加を通して区民の交流を図る |
| 横田区 | 寄せ植えのまちづくり、地域話題誌の発行、地域の句碑の解説勉強会など。横田に学び、きれいな郷土と豊かな心を後の世代に引き継ぐ |
| 下横田区 | 従来からある体育祭の充実。体育祭のデザイン、地区イメージデザインを募集し作品を活用、便りの発行。グラウンドゴルフのチーム構成に小学生・高齢者を含み世代間交流を深める |
| 浅井区 | 世代間交流による防災マップづくり。防災関連で地区住民による「土のうづくり訓練」や「防災もちつき」などを実施 |
| 上早川一区～五区 | 上早川一区から五区までの全区で協力し区域内に統一的な看板を設置する。材料を購入し、専門家の指導の下、地区住民の交流を図りながら看板を作製、設置する |
| 田原区 | 筋力トレーニングを行うとともに、活動成果の発表の場を設け、地区の活性化・医療費削減を目指す |
| 中早川区 | 地域の防犯パトロールや登下校時の子どもの見守り活動を通して子どもの安全確保と世代間交流および地域の活性化を図る |
| 北早川区 | 歴史の伝承と防災訓練を通じた村づくり。古くから伝わる村祭りの伝承と拡充。祭りに合わせ防災訓練の一環として「炊き出し」を行うなどして防災意識を高めるとともに交流を図る |
| 糸田区 | 区内の荒地を含む周辺に桜の木や菜の花を植えて美化を図り、交流拠点となる公園を作る。花畑を通じて区内外の人との交流を図る |
| 芝原区 | 旧来からの区民と新たな区民との交流を図るため村祭りを企画実施 |

国民健康保険

医療費が多く掛かる生活習慣病は家計にも負担が掛かります

生活習慣病は自覚症状のないまま進行し、見た目では分かりにくいという特徴があります。そのため気付かないうちに重症化し、心筋こうそく・脳こうそくといった恐ろしい病気をいきなり発症したりします。

生活習慣病が重症化すると、手術や入院などの高額な医療費が掛かります。自己負担分は限度額までで済みますが、家計や町国民健康保険の保険者である町の負担は増大します。

町国民健康保険の医療費においても、生活習慣病に起因する高血圧症や糖尿病、慢性腎不全などの医療費が全体の医療費（平成25年度約12億4,000万円（10割分）の約4分の1を占めています。高額な医療費が掛かる病気が増えることで、町国保財政の悪化が続いてしまうと、国民健康保険税の税率引き上げにもつながり家計への負担がさらに大きくなってしまいます。

健診で健康状態をチェックしよう

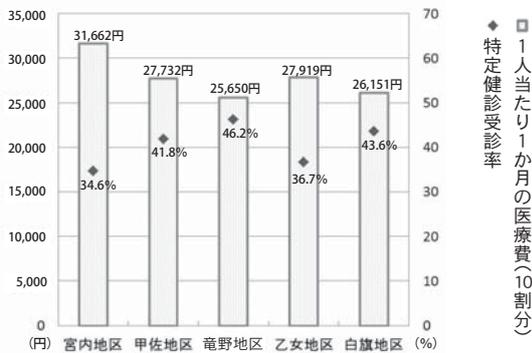
特定健診を受診すると、見た目

では分からない健康状態を知ることができません。また、健診結果を基に、町の保健師・栄養士が生活習慣病の予防に向けた生活習慣の改善や治療に対するお手伝いをします。

左図は、平成25年度の1人当たり1か月の医療費（10割分）と特定健診受診率を地区ごとにグラフ化したものです。特定健診受診率の高い竜野地区が、医療費が低いという状況が分かります。

年に1回は町の特定健診を受診し、健康状態を知ること、自身の健康づくりに生かしましょう。

■平成25年度1人当たりの1か月の医療費（10割分）



町住民生活課 ☎ 096-234-1113 (内線 106) ✉ klg204@town.kosa.lg.jp

男女共同参画

啓発イベントを開催します

郡内5町による男女共同参画についての共同啓発イベント「男女共同参画を考えよう！第4回上益城大会」を開催します。

この啓発イベントは、上益城地域における男女共同参画社会について多くの人に周知するとともに、事業に対して積極的な参加を促すことを目的としています。

入場料無料で、事前申し込みも不要です。ご家族、お友だちなどお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

▼イベント名

男女共同参画を考えよう！第4回上益城大会 in こうさ

▼日時

10月3日（土）午前10時

10月3日（土）本町で啓発講演会を開催



前回の啓発講演会は嘉島町で開催

※オープニングは、午前9時50分会場

町生涯学習センター・ホール

▼実施内容

・オープニング なごみ太鼓
・甲佐町男女共同参画社会推進懇話会による寸劇「夫の変身」

●基調講演

▼講師

野田亜紅さん（フリーアナウンサー）

▼演題

「メディアを通して見えた男女共同参画」

※入場料は無料です。

※会場では託児も受け付けます。

希望する人は、9月25日（金）までに町総務課までお申し込みください。

▼主催

上益城地域男女共同参画連絡会

▼共催

甲佐町、御船町、嘉島町、益城町、山都町、県上益城地域振興局

お申し込み・お問い合わせ先

▼町総務課

☎ 096-234-1140
(内線222)

✉ klg202@town.kosa.lg.jp

町総務課 ☎ 096-234-1140(内線 222) ✉ klg202@town.kosa.lg.jp

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、毎週新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

怒れる老人テロ集団の暴走が始まる 村上 龍著 / 『オールド・テロリスト』



文藝春秋
小説

東日本大震災から7年後、東京オリンピックまであと2年という2018年に予告テロ事件が相次いで起こる。実行犯は、心に病を抱えた若者たちだったが、その裏にはある高齢者たちのグループの姿が…。怒れる老人たちが歴史を変えるために立ち上がり暴走を始めるストーリーでハラハラドキドキの疾走感がたまらないおすすめの本です。

運ぶ車や道具の歴史を絵で学ぼう 鎌田 歩作 / 『はこぶ』



教育画劇
児童書

何かを運ぼうと思ったらどうする。まずは、手で運ぶ。入れ物に入れたらもうちょっと運べる。2人ならたくさん運べるな。「はこぶ」をテーマにスタートしたら、どんどん方法や道具が展開して進化していくよ。人はこんなにも「はこぶ」ことに一生懸命だった。美しく明確に描かれた絵の迫力が魅力で、大人も感動してしまう絵本です。

世界一危険なソマリ社会に飛び込む 高野 秀行著 / 『恋するソマリア』



集英社
一般書

アフリカ大陸の東端に広がる世界一危険な地「ソマリア」。そこには、現代のテクノロジーと氏族社会の伝統が融合した摩訶不思議なソマリ社会が広がっていた。ソマリ人に夢中になった著者が、「もっと知りたい、近づきたい」と台所から戦場まであらゆる場所に飛び込むノンフィクション。読み出したら止まらなくなるおすすめの本です。

野球史に残る名場面がよみがえる 『プロ野球「戦後70年史」』



ベースボールマガジン社
教養・娯楽

戦後70年間のプロ野球の歩みを、豊富な写真とともにまとめた一冊。長嶋茂雄や王貞治をはじめ、野村克也、山本浩二、八重樫幸雄、掛布雅之、松井秀喜などの歴代スター選手のインタビュー、年代別名勝負7選や日本シリーズ結果一覧、殿堂入り一覧などさまざまなジャンルが充実。野球好きな人にぜひおすすめしたい1冊です。

- 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、15日間

有 名なクラシック音楽“アイネクライネナハトムジーク”は「ある小さな夜の曲」と訳されるそうです。同名の本書は、“ある小さな6つの話”ということになるのでしよう。

奥さんが出て行った先輩のせいで街頭アンケートをするはめになった会社員。客の女性に“ジム”の仕事をやっている弟を紹介される美容師。田舎の高校生だったころのいじめっ子に仕返しできる立場で再会したOL。

今月の案内人



橋本 良一さん
(仁田子区)

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

私のおすすめ図書

『アイネクライネナハトムジーク』(伊坂 幸太郎著)

妻に愛想を尽かされたサラリーマン、他力本願で恋をしようとする青年などさまざまな境遇の登場人物たちが作り出す、数々のサプライズが描かれる。

正義感が強すぎるせいでピンチに陥る女子高生。

一見、関係なさげに思える登場人物たちが、時間を超え、ゆるく、でも、たしかにつながって…。 “ストロンガーザンストロンガーな絆”を手に入れた織田一真という登場人物の奇行に瞠目しながら“ベリーベリーストロンガーな絆の話”を楽しんでください。

余談になりますが、第1話



『アイネクライネ』は(互いにファンである)ミュージシャン斉藤和義に作詞を依頼された著者が「小説なら書けるのだけど…」と言って書いたものだそうです。

よろしければ、斉藤さんの曲も併せてどうぞ。

※曲名は『ベリーベリーストロンガー・アイネクライネ』です。

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ 公民館主催講座

グラウンド・ゴルフ大会

- 開催日時 9月30日(水)
- 受付 午前8時30分
- 開始 午前9時
- ※雨天の場合は、中止となります
- 場所 安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場「グリーンパル甲佐」
- 参加費 プレー代 300円
スティック・ボール代 100円
- ※道具をお持ちの方は、ご準備ください。
- ※飲み物は、各自ご用意ください。
- ※9月25日(金)まで申し込みを受け付けます。

▶ 公民館自主講座

パン教室

- 開催日時 毎月第3水曜日午前10時～午後1時
- 場所 町総合保健福祉センター
- 講師 沼田峰子さん(北原区)
- お申し込み・お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

で採れたシイタケや野菜などいろいろな食材を使ったバーベキューに舌鼓を打ち流れる汗をぬぐいながら冷



▲宮内地区の住民らが夏の風物詩である夏祭りを楽しんだ

公民館 宮内地区夏祭りが開催

7月25日(土)川平キャンプ場で、「宮内地区夏祭り」が開催されました。

宮内地区社会福祉協議会やまびこ会が主催で開催された同祭りでは、同地区の住民などが、シシ肉、地元

種類について説明があり、腰痛予防のポイントや腰痛について説明しました。

7月22日(水)吉田公民館で、出前講座「腰痛とひざ痛」をテーマに開催しました。

公民館出前講座 「腰痛とひざ痛について」

7月22日(水)吉田公民館で、出前講座「腰痛とひざ痛」をテーマに開催しました。

たい飲み物でのどを潤しました。

参加者の多くが、腰やひざに痛みなどの症状をもっており、熱心に講師の話に聞き入りました。



▲古閑保健師から腰痛やひざ痛予防のポイントを学ぶ受講生

講師の町総合保健福祉センターの古閑裕子保健師が腰痛に関して解説。初めに腰(背骨)の構造や腰痛の種類について説明があり、腰痛予防のポイントや腰痛について説明しました。

講座の最後には、「座学で余計に足腰が痛くなりやす。腰痛予防を兼ねて、ゆっくり寝転がって腹式呼吸をしましょう」と古閑保健師の合図で実践しました。参加者は、「気持ち良くなつてついつい眠ってしまった」と話しました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

- 知りましょう。日本における人権問題

セクハラのある職場で働けますか

女性をめぐる職場での大きな問題として、セクシャル・ハラスメント(セクハラ)があります。性的な言動によって、相手を傷つけたり、不快にさせたり、仕事をしにくくされたりすることです。「からかっただけ」とかわしたり、「どこが悪いのか」と居直ったりと、加害者は軽く考えていることもあります。被害者にとっては深刻であり、人権侵害に当たる重大な問題です。

被害にあった時には、はっきりと自分の意思を示して断りましょう。また、女性だけでなく、男性に対するセクハラも法律で禁止されるようになりました。

働く者同士がお互いの人権を尊重し、1人ひとりがセクハラを許さないという意識を持ち、嫌がらせのない職場を作っていく必要があります。

被害者が企業に対してセクハラ対策を怠ったとして損害賠償を請求することも有り得ます。

企業は、規則に明記する等セクハラを防止する具体的な措置を講じ、お互いを人として大切にするという

人権研修を行うことで、セクハラのない職場を作っていくことが必要です。

～人権教育推進センター『CSRで見てくる明るい明日』～
※CSRとは、「企業の社会的責任」という意味です。

- 人権に関するお問い合わせ先 町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

地域住民同士で楽しく取り組む 介護予防サポーター養成講座

◆高齢化が進む本町で高まる
介護予防の必要性

平成37年には、団塊の世代が後期高齢となる75歳を迎えます。75歳以降の年齢の人は、身体機能や認知機能の低下を引き起こしやすく、介護支援などを必要とする場面が増えてきます。

また、人口の高齢者の占める割合が増加していく中で、現在の介護保険制度のサービスのみで多くの高齢者を支えることが難しくなると考えられています。そのため地域で介護を予防するための取り組みの1つとして、高齢者の集う場をつくることの必要性が高まっています。

あゆみだより 介護の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
福田 久美子 保健師

町では、自ら介護予防を行い、住民同士で楽しく介護予防活動を行う「介護予防サポーター」の養成講座を開催しています。地域で介護予防に取り組み、生きがいを持って元気に生活できるように皆さんもぜひ参加してみませんか。

また、介護保険を申請する要因として、関節障がいが必要介護の前段階である要支援認定者に多く、関節障がいを予防する取り組みが必要であることから、高齢者の集う場で、笑顔で住民同士が共に協力しながら楽しく運動に取り組むことが、今後の介護保険制度の維持に大きく影響を及ぼすと考えられています。

そこで、今年度から町では、地域で楽しく運動に取り組んでいた、住民同士で介護予防活動を支援することを目的とした介護予防サポーターを養成することとなりました。

介護予防サポーターとは、自ら介護予防を実践し、地域での介護

予防の取り組みを推進し広める役割を担う介護予防や健康づくりのサポーターをしていただくボランティアです。

◆介護予防サポーター養成講座を開催しています

介護予防サポーター養成講座は、町が(株)くまもと健康支援研究所(松尾洋代表)へ委託し、8月5日(水)第1回養成講座を町総合保健福祉センターで開催し約78人が参加しました。

第1回の講座は、本町の介護を取り巻く状況と今後の介護の方向性についての講話、血圧測定の実技、問診のとり方、転倒予防のための「なるなる体操」を実施しました。

今後、介護予防の地域の担い手となるサポーターの役割についての講話や「なるなる体操」の実践、口腔体操、認知症予防のための脳

トレなど、介護予防に大切な内容が受講料無料で8回、町総合保健福祉センター・多目的ホールで開催します。実技や講話など自分のためにもなる内容で、現在、参加者94人、男女問わず多くの皆さんにご参加いただいています。



▲講師から「なるなる体操」など介護予防について学ぶ受講生の皆さん

なお、地域で介護予防サポーターとして活動していただくためには、講座を7回以上受けていただくことが条件となっています。

参加した方からは、「とてもためになりました。これからも来ます」「自分のためにもなります」と意欲的な意見が多く聞かれました。私たち職員も、皆さんが地域で介護予防に取り組みやすいようバックアップをして皆さんと一緒に汗をかいて頑張ります。

介護予防に興味のある方、自分の生きがいづくりや仲間づくりをしたい方などぜひご参加ください。

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



志免 ^{ののか} 希颯 ちゃん (11か月)

父・充紀 さん 母・理恵 さん
(安平区)

おうちのみんなが大好き♡



赤崎 ^{りゅうと} 龍斗 くん (11か月)

父・龍太 さん 母・千春 さん
(緑町区)

かわいい笑顔に
いやされています♡



田上 ^{はじめ} 創 くん (1歳)

父・満 さん 母・ひとみ さん
(大町区)

全く人見知りせずになりました。

Child-Care

9月の子育て支援カレンダー

○ 甲佐保育園 ☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 若草保育園 ☎096-234-0013

4日(金) 室内で遊具あそび
18日(金) ポールプール遊び

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 竜野保育園 ☎096-234-0519

16日(水) 誕生会

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 乙女保育園 ☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 緑川保育所 ☎096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 地域子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305

| | |
|--------|-----------|
| 2日(水) | 製作遊び |
| 4日(金) | 散歩 |
| 7日(月) | 積み木遊び |
| 9日(水) | お絵かき |
| 11日(金) | シール遊び |
| 14日(月) | おやつ作り |
| 16日(水) | お誕生会(要予約) |
| 18日(金) | スタンプ遊び |
| 25日(金) | 陶芸教室(要予約) |
| 28日(月) | 戸外遊び |
| 30日(水) | 散歩 |

育児相談(電話・面接)
月～金曜日 午前9時30分～午後4時
体験保育
月・水・金曜日 午前9時30分～正午

9・10月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

+ 4か月児健診

9月17日(木) 午前9時

10月15日(木) 午前9時

+ 7か月児健診

9月17日(木) 午前10時20分

10月15日(木) 午前10時

+ 10か月教室

10月2日(金) 午前9時30分

+ 1歳6か月児健診

9月8日(火) 午後1時

+ 2歳子育て相談

9月18日(金) 午前9時30分

+ 3歳児健診

9月8日(火) 午後1時20分

+ BCG予防接種

9月15日(火) 午後1時30分

●健康や福祉、介護、健康診断などに
関するご相談・お問い合わせ先

・町総合保健福祉センター

・町地域包括支援センター

(町総合保健福祉センター内)

☎096-235-8711

✉klg113@town.kosa.lg.jp

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。



お知らせ

生活に困窮している人の相談を受け付けます

甲佐町社会福祉協議会では、生活に困窮による悩みを持つ人の相談窓口を設置しています。

相談員が1人1人に合わせた支援プランを作り問題解決に向けた支援をします。相談者の秘密は堅く守られ、相談は無料ですので、1人で悩まずにご相談ください。

▼相談日時
毎週月・金曜日（祝日、年末年始を除きます）
午前9時～午後4時

▼相談方法
電話または窓口にて相談を受け付けます。

▼相談内容
・職を失い、生活が苦しい。
・ずっと働いていないので再

就職が不安。

・住む家が無く困っている。
・子どもに勉強の場を見付けて進学させたい。
・借金などで家計が維持できない。

▼ご相談・お問い合わせ先

甲佐町社会福祉協議会
096-234-1119

特定不妊治療に対する費用について助成します

県では、特定不妊治療（体外受精および顕微授精）の費用を助成します。

申請に必要な書類や提出期限などの詳細につきましては、県御船保健所または県子ども未来課までお問い合わせいただくか、県公式サイトにも掲載していますのでご覧ください。

▼助成内容

子どもを望む夫婦の特定不妊治療費について、治療の内容により1回の助成額の上限

お問い合わせ先一覧

- 町役場
☎096-234-1111（代表）
- 町教育委員会
（町生涯学習センター）
☎096-234-2447（代表）
- 町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
- 町水道管理センター
☎096-234-0755
- 町民センター
☎096-234-2459
- 町学校給食センター
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家
（社）甲佐町社会福祉協議会
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合
（クリーンセンター）
☎096-282-0688
- 上益城消防署
☎096-282-1955
- 御船警察署
☎096-282-1110
- 上益城広域連合
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局
☎096-282-2111（代表）
- 県御船保健所
☎096-282-0016
- 県庁
☎096-383-1111（代表）

15万円または7万5,000円を助成します（助成回数は別途規定があります）。

▼所得制限

夫婦の所得合計額が730万円未満

※平成28年4月1日（金）からは、治療開始時の妻の年齢が43歳を超える人の申請はできなくなりますのでご注意ください。

また、不妊に関する悩みなどの相談も受け付けています。

▼県不妊専門相談電話

○受付期間
月～土曜日
午前9時～午後8時

○電話番号
☎096-381-4340

▼お問い合わせ先

●県御船保健所
☎096-282-0016

●県子ども未来課
☎096-333-2209

●県公式サイト
URL <http://www.pref.kumamoto.co.jp>

高齢者や障がい者の人権あしん相談強化週間

高齢者や障がい者に対する暴行・虐待などの事案が依然として数多く多発することから、さまざまな人権問題の解決を図るための全国一斉「高齢者・障がい者の人権あしん相談」強化週間を実施します。

▼相談日時

9月7日（月）～13日（日）
午前8時30分～午後7時
※12日（土）・13日（日）のみ
午前10時～午後5時

▼相談方法
電話相談（ナビダイヤル）
☎0570-003-1110

人権擁護委員や法務局職員が、虐待や差別、偏見など高齢者・障がい者をめぐるさまざまな人権問題に関わる相談を受け付けます。
※相談内容についての秘密は堅く守られます。

日曜当番医

| 月 日 | 当番医 | 電話番号 |
|-------|-------|---------------|
| 9月6日 | 荒瀬病院 | ☎096-234-1161 |
| 9月13日 | 谷田医院 | ☎096-234-1248 |
| 9月20日 | 小屋迫医院 | ☎096-234-0165 |
| 9月27日 | 荒瀬病院 | ☎096-234-1161 |

町税などの滞納処分（7月分）

| 種 別 | 件数・金額など |
|---------|---------|
| 捜 索 | 2件 |
| 差し押さえ件数 | 8件 |
| 交 付 要 求 | 0件 |
| 取立・公売代金 | 0円 |

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第26回～

「白旗小学校 100年の歩み」 石坂妙 町文化財保護委員（吉田区）

明治7（1874）年の学制により、各地に小学校が造られるようになりました。白旗小学校も、その時からの歩みで現在に至っています。



歴史が残る白旗小学校

当時は、早川尋常小学校と白旗尋常小学校の2校に分かれており、上が糸田と塔の木の境、下が八丁にあったといひます。

当時の児童数は30～40人くらいで、そんなに多くはなかったそうです。教育年限は4年で、読本（国語）や算術（算数）、算盤が教科内容でした。

明治41（1908）年9月、この2つが合併し、現在地に新しく「白旗尋常高等小学校」が誕生しました。学校として順調に発展しながら、ここも他の地域同様、戦争の足音が聞こえてくると「白旗村国民学校」と校名を変更させられています。多くの人たちが戦争に駆り出され、この地でも死んだ人が多数に上りました。

戦後の昭和22（1947）年に「白旗村立白旗小学校」と改められ、昭和30年の町村合併で「甲佐町立白旗小学校」となり現在に至っています。

たった100年程の間にも、これだけの事をこの門柱は私たちに伝えていたと思うと、感慨深いものがあります。これを書きながら、戦争に行った人、戦争で死んだ人の数が知りたくなりました。

■お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447（内線322） ✉klg110@town.kosa.lg.jp

▼お問い合わせ先
熊本地方法務局人権擁護課
☎096-364-2145

9月は、県民に動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深める「動物愛護月間」です。

9月は動物愛護月間です

犬や猫などのペットは、私たちの生活に癒やしを与えてくれる大切な家族ですが、ペットに関するトラブルが多発しているのも事実です。次の項目を守って動物が幸せに暮らせる環境づくりを目指しましょう。

▼ペットに対する注意点
・飼っている犬は登録と狂犬病予防

・注射を必ず受ける。
・犬のフンは、飼い主が責任を持って処理する。
・病気になるっても年をとっても、家族の一員として最後まで愛情と責任を持って飼う。
・飼っている動物がいなくなったら、すぐに周辺の保健所や動物愛護センターに

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございます。

町では、心温まるご好意を町の振興のために大切に使用させていただきます。引き続き多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。

▼平成27年度寄附金額合計
230,000円

▼お申し込み・お問い合わせ先（8月15日現在）
町総務課
☎096-234-1140
（内線224）
✉klg102@town.kosa.lg.jp

ふるさと甲佐応援寄附金

お礼

▼お問い合わせ先
県健康危機管理課
☎096-333-2248

問い合わせる。

▼不幸な動物を減らすために
・捨て犬・猫などを虐待するような不幸な扱いをしない
・望まない命を産ませないために子どもを産ませない方法（不妊去勢措置）を行う。
・迷子にさせないように、迷子札や鑑札などを付ける。

environmental preservation

クリーンセンターへのごみ搬入量（7月分）

| 種別 | 搬入量 | 前月比較 | 前年比較 |
|------|---------|--------|-------|
| 可燃ごみ | 216,030 | △3,080 | 2,350 |
| 資源ごみ | 26,030 | 5,800 | 1,570 |
| 粗大ごみ | 4,480 | 740 | △90 |
| 合計 | 246,540 | 3,460 | 5,820 |

※単位：kg

traffic safety

交通事故件数

| 種別 | 発生件数 | 前年比較 |
|------|------|------|
| 事故件数 | 11 | (5) |
| 死者 | 0 | (0) |
| 傷者 | 13 | (5) |

8月16日現在（カッコ内は前年比較）

fire prevention

出動火災件数

| 種別 | 発生件数 | 前年比較 |
|------|------|------|
| 家屋 | 1 | (1) |
| 原野 | 1 | (△3) |
| その他 | 0 | (0) |
| 合計件数 | 2 | (△2) |

8月15日現在（カッコ内は前年比較）

e 開催

任期満了に伴う町農業委員選挙が執行されます

任期満了に伴う町農業委員選挙が次の通り執行されます。なお、農業委員会等に関する法律の一部を改正する法律の公布が告示前に行われた場合、選挙は行われません。

▼告示日
9月8日(火)

▼投票日
9月13日(日) 午前7時～午後6時

▼委員定数
13人

▼お問い合わせ先
町選挙管理委員会事務局
(町総務課内)

☎096-2334-1140

(内線222)

✉klg20@town.kosa.lg.jp

9月19日(土) 開催
「くさ環境フェア2015」

町では、多くの方々に環境保全についての関心と理解を深めていただくことを目的に「くさ環境フェア2015」を開催します。

入場は無料で、スタンブラリーで景品も進呈しますので

お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

▼日時

9月19日(土) 午前9時～正午

▼場所

町生涯学習センター

▼テーマ

「みんなでリサイクル」

▼開催内容

- ・環境についての講演会
- ・環境教育表彰式、グリーンカーテンコンテスト表彰式
- ・出展ブースコーナー(浄化槽の仕組みや節水などの環境について学べるブースを出展します)

▼お問い合わせ先
町環境衛生課

☎096-2334-1169

(内線252)

✉klg21@town.kosa.lg.jp

無料の歯科健診および相談会を開催します

上益城郡歯科医師会では、無料の歯科健診および相談会を開催します。

来場者全員に、歯ブラシや歯磨き粉などの景品を無料で贈呈します。ぜひご来場ください。

▼日時

10月25日(日) 午前9時～午後4時

▼場所

Information

5年に1度の「国勢調査」を実施します



10月1日(木)

国勢調査を実施します

今回からインターネットで回答できます!



■国勢調査とは

「国勢調査」は、日本の人口や世帯の実態を明らかにする、国の最も重要な統計調査です。日本に住んでいるすべての人が調査の対象となり、調査結果は、福祉施策や生活環境整備、災害対策など私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられます。

今回の調査からパソコンやタブレット端末、スマートフォンを使った「インターネット回答」もできますので皆さんの調査へのご協力をお願いします。

■調査方法

9月10日(木)から、調査員証を身に付けた調査員が各世帯を訪問し、インターネット回答のため書類を配ります。9月26日(土)から、インターネットからの回答がなかった世帯に紙の調査票を配ります。

記入後の調査票は、調査員に直接提出するか、調査票と一緒に配布する郵送提出用の封筒に入れて、郵送で提出してください。

■国勢調査の流れ

9月10日(木)
～12日(土)

インターネット回答の
利用案内を配布します

9月10日(木)
～20日(日)

インターネットでの回答
ができます

9月26日(土)
～30日(水)

調査票を配布します
※インターネット回答のな
かった世帯のみ

10月1日(木)
～7日(水)

調査票を調査員などに
提出してください

●お問い合わせ先

町企画課

☎096-234-1154 (内線236)

✉klg104@town.kosa.lg.jp

スポーツ

鶴屋バスケットボール部と小・中学生が交流



7月28日(火) 甲佐小学校体育館でバスケットボール教室を開催しました。

同教室は、スポーツによって参加者同士の親睦を深め、心身を鍛錬することを目的として、町教育委員会が主催。町内の小・中学生62人が参加しボールを追いかけて汗を流しました。

鶴屋百貨店バスケットボール部の鹿毛美智子監督と選手など15人の指導の下、基本動作の確認や同部選手たちとのミニゲームなどを体験しました。

甲佐町総合型地域スポーツクラブ
「I・YOU スポーツクラブ」
9月のアユスポ・カレンダー



サッカー教室
宮崎 廉くん
(下横田区)

笑顔でサッカー楽しもう♪

●スポンジテニス&バドミントン

甲佐中体育館 月曜日 午後7時30分

●少年柔道

甲佐中武道館「甲心館」
月・水・金曜日 午後7時

●卓球

町生涯学習センター
水・金曜日 午後7時30分

●サッカー教室

緑川グラウンド 木曜日 午後7時
甲佐小グラウンド 土曜日 午前9時

●バスケットボール教室

甲佐中体育館 火曜日 午後8時

●ジュニアバスケット教室

甲佐小体育館 土曜日 午前9時

■お問い合わせ先

I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局
(町教育委員会社会教育課内)
☎096-234-2447(内線325)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

募集

農業のプロを目指す
農学生を募集します

県立農業大学では、農業のプロを目指す平成28年新農学生を募集しています。

▼入学者選抜日

○推薦入学者(高等学校推薦および地域推薦)
10月2日(金)

○一般入学者

平成28年1月20日(水)

▼選抜場所

県立農業大学

▼選抜方法

○推薦入学者

学力検査(国語総合)、面接

イオンオール熊本・イオン
店内1階催事場

▼お問い合わせ先

上益城郡歯科医師会
☎096-282-0461

提出書類

○一般入学者

学力検査(国語総合、数学I)、
面接、提出書類

▼募集定員

80人(農学部)

▼願書受け付け期間

○推薦入学者

9月2日(水)～11日(金)

○一般入学者

12月2日(水)～16日(水)

募集内容などの詳しいことは、
お問い合わせください。

▼お問い合わせ先

県立農業大学
☎096-248-1188

くらし安全

皆さんの悩みや不安は
警察にご相談ください

9月11日(金)は警察相談の日です。

警察では、防犯や交通、暴力

団、家庭内の暴力や子どもの非行、ストーカーやドメスティック・バイオレンス(DV)、事件や事故、鉄砲の許可行政に関する事など、悩みや不安を感じている皆様のご相談に応じます。

窓口での直接相談、電話での相談のどちらでも結構です。ただし、緊急の事件・事故の場合は、110番通報をお願いします。

▼警察への主な相談窓口

○警察安全相談室

・プッシュ回線の場合

☎#9110

・ダイヤル回線の場合

☎096-383-9110

○御船警察署

☎096-282-1110

○犯罪被害者支援室

☎096-381-0110

○くまもと被害者支援センター

☎096-386-1033

○レイイス110番(性犯罪相談電話)

☎0120-8343-81

○けん銃・覚せい剤相談電話

☎0120-10-3774

○振り込め詐欺相談電話ホットライン

☎096-381-2567

○肥後つ子テレホン(少年問題相談電話)

☎0120-02-4976

○悪質商法110番

☎096-385-1110

○暴力追放相談電話

☎096-384-0110

○熊本県暴力追放運動推進センター

☎096-382-0333

○道路交通情報案内(道路交通情報センター)

☎050-3369-6643

▼お問い合わせ先

御船地区防犯協会連合会
(御船警察署内)

☎096-282-1110

Event

町生涯学習センター・ギャラリーモール展のお知らせ ～9月～

●台湾高校生との交流写真展

▶期間 9月7日(月)～25日(金)
▶主催 甲佐町国際交流協会



◀8月の展示会
あゆまつり共催作品展

●お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447 ✉klg110@town.kosa.lg.jp



夏のやな場

うたごよみ ー 長月 ー

「短歌」

渡辺幸士選

台風も逸れほつとしてあゆ祭り打ち上げ花火
夫と見ており 赤星 文子
今年も異常気象と報じられ自然の怖さしみじ
み思う 上村やす美
連れ立ちて亡夫と行きたる花火会今宵は屋根
の上のみを見る 上村 かず
荒れ畑の草刈る夫の回りには羽根ひるがえし
蜻蛉飛び交う 塚原 暁益
亡き友は何時も笑顔で夢に立つ吾が老いたる
を知ることも無く 内田乃武子
オカリナの優しき音色に誘われて故郷偲ぶ夏
の夕暮れ 池田キヨ子
夕暮れに今年初めて虹を見るその喜びを歌に
留むる 清田ひで子
梅雨明けて暑い日差しをエネルギーに蝉一斉
に鳴き頻りおり 吉永由紀子
道端に香り漂う酔蝶花しばし佇みフレッ
シュする 赤星 延子
トラクターの後をとことこ追う鳥の親ではな
いかと夫は思わる 緒方 明美
茗荷の子ピンク色して露ふくみ朝陽に輝りて
すつくと生ゆる 森田 房恵
淡紅のしゅうかいどうの花咲けば株分けくれ
し亡き友偲ぶ 塚本 俊子
語られることも無くなり草覆う墓碑に記さる
る若き兵の名 渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士選

「期待」

期待した密かな願い夢となる 本田長久子
期待した夕立回り道して過ぎる 古閑チヨミ
サマージャンボ今年も夢を買ってみる 林 雅之

「どきどき」

子の帰郷胸どきどきと待ち疲れ 布田 愛子
二人だけ残る就職面接日 清川みどり
どきどきの記憶消えない面接日 中川ひろし
どきどきがびたりと止んだ異状無し 渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美選

辛いねエ 親の期待の太すぎる 広田みどり
辛いねエ 咳のひどなる休診日 下山 千恵
辛いねエ 亡き母偲ぶ一周忌 志垣 光
辛いねエ 救えなかつた子の命 佐藤 葵
辛いねエ 野菜の出来ん雨続き 北畑 公美
辛いねエ 別れちゅうとはこきやんとか木村 陽菜
辛いねエ 齢と言えども夏ア暑か 布田かんな
辛いねエ 出勤せなん二日酔い 平井やよい
辛いねエ エラーで逃す甲子園 長原 産賀
辛いねエ 思ってもおらん告知され 佐野しよう
辛いねエ 孫も抱かれん松葉杖 光永 六
辛いねエ 男寅さん旅に出る 井元あざみ
辛いねエ 継母で白い眼で見られ 北川 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・2447 (内線321)

ひとの動き (敬称略)

7月11日(土)～8月10日(月)

birth お誕生おめでとう

| 住所 | 氏名 | 性別 | 保護者 |
|-----|--------|----|-----|
| 上揚田 | 後藤 玲音 | 男 | 貴史 |
| 田口 | 興梠 結菜 | 女 | 純平 |
| 緑町 | 中村 広大 | 男 | 宗広 |
| 豊内 | 北里 篤與 | 男 | 雄秀 |
| 緑町 | 宇土 陽佑大 | 男 | 恵佑 |
| 下横田 | 井元 達喜 | 男 | 亮 |
| 下横田 | 岡村 塔子 | 女 | 雄輝 |

marriage ご結婚おめでとう

| | 住所 | 氏名 |
|---|-----|--------|
| 夫 | 菊陽町 | 士野 竜典 |
| 妻 | 白旗 | 本田 早桃美 |
| 夫 | 熊本市 | 米野 宏泰 |
| 妻 | 船津 | 日隈 由依 |
| 夫 | 嘉島町 | 廣瀬 孝 |
| 妻 | 横田 | 田上 千晶 |
| 夫 | 美里町 | 片山 聖也 |
| 妻 | 津志田 | 宮内 祥子 |

condolence お悔やみ申し上げます

| 住所 | 氏名 | 年齢 | 世帯主 |
|-----|--------|-----|-----|
| 横田 | 浦本 淳子 | 83 | 敬史 |
| 早川 | 木村 隆光 | 83 | たち子 |
| 田口 | 村上ツタエ | 91 | 文也 |
| 芝原 | 藤崎 典雄 | 74 | 美知 |
| 豊内 | 坂口 静夫 | 91 | 静夫 |
| 豊内 | 赤星 達夫 | 102 | 達夫 |
| 坂谷 | 田上 靖 | 91 | 靖 |
| 豊内 | 伊豆野マス子 | 75 | 久 |
| 上早川 | 溜淵不美子 | 104 | 不美子 |
| 芝原 | 藤田ツユ子 | 91 | 昭子 |
| 仁田子 | 西田 道治 | 91 | 正剛 |

| data 甲佐町の人口・世帯数 | | |
|-----------------|--------|-----|
| 項目 | 数 | 増減 |
| 男 | 5,288 | 0 |
| 女 | 5,910 | △10 |
| 計 | 11,198 | △10 |
| 世帯数 | 4,309 | △2 |

平成27年7月31日現在



こうさの野菜で作ってみよう!

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)

ゴーヤのしょうゆ漬け

3存知ですか?

ゴーヤは、女性の味方と言っていいほどビタミンCを豊富に含んでいます。水や熱に弱いビタミンCですが、ゴーヤに含まれるビタミンCは加熱しても壊れにくいので安心です。

ゴーヤの独特の苦味こそが、胃腸の粘膜を守り食用増進に役立ち気持ちをシャキッとさせる効果もあるそうですよ。



材料 (4人分)

- ゴーヤ 2本
- 塩 小さじ1
- しょうゆ 2分の1カップ
- 酒 2分の1カップ
- 水 3分の1カップ
- 砂糖 大さじ1.5
- ゴマ油 大さじ1
- 唐辛子 適量

作り方

- ①ゴーヤは縦に切り、スプーンで中のワタを取りましょう。
- ②5ミリの幅に切りそろえた①に塩を振り、しんなりしたら軽く絞り水気を切ります。
- ③鍋にしょうゆ、酒、水を入れてひと煮立ちしたら火を止めて、最後に砂糖を加え溶かしましょう。
- ④砂糖が溶けたら、③にゴマ油と唐辛子を加えよく混ぜます。
- ⑤容器に②を入れ、④を全体に回しかけて1時間くらい置けば出来上がりです。

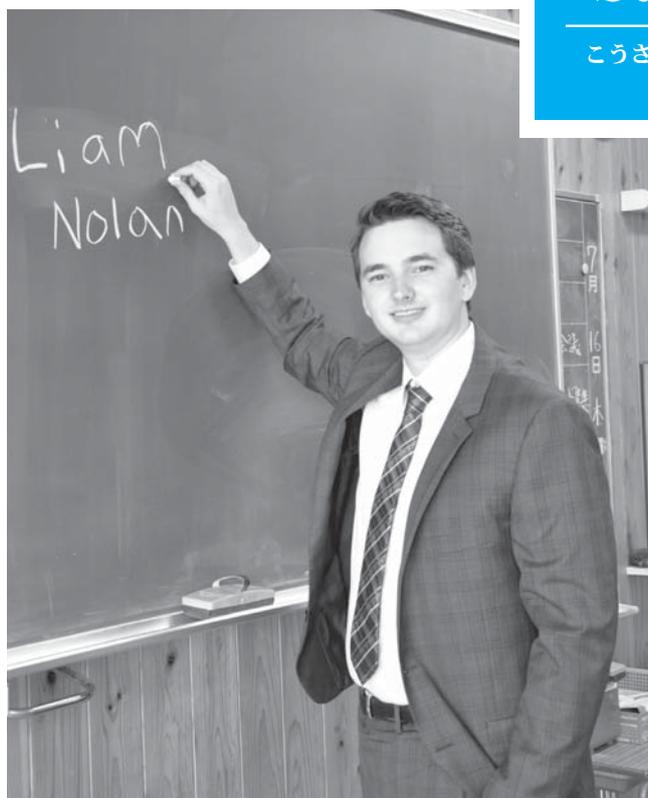
編集後記

長いようで短く感じる夏休みが終わり、小学生が元気に登校する姿を久し振りに見掛けました。真っ黒に日焼けしたその姿に、今年も夏の思い出がたくさんできただなと感じます。

8月4日(火)～5日(水)

川平キャンパスでの野外キャンプ「あつまれ子どもたち」では、子どもたちが元気いっぱい自然に親しみ、テントで1泊2日の集団生活を体験しました。

参加した子どもたちは、新しい友だちと出会い、一緒に飯ごうでの炊飯を体験したり自然の中でネイチャーゲームをしたりして楽しみました。普段の生活と違うことをしたり初めての経験をしたことは、いつまでも心に残り自分の財産になります。子どもたちには、この出会いと体験を大切に、これからたくさん思い出づくりをしてほしいなと感じました。(み)



リアム・ノーランさん
Liam Nolan

リアム・ノーラン / 外国語指導助手。8月から本町に着任。子どもたちに英語に親しみを持ってもらうことを目標に教壇に臨む。カナダ出身。

〔仁田子区〕

英語の楽しさと触れ合い 子どもたちに話す自信を

「英語を話す自信を子どもたちにはぐくみ、英語を話してたくさんの人と通じ合えることを知ってほしいです」と話すのは、8月から町内の小・中学校のALTを務めているリアム・ノーランさん。

ALTとは、英語を母国語とする外国語指導助手のことです。子どもたちに生きた英語を伝える。リアム先生が子どもたちのころ、カナダにホームステイで訪れた日本人学生らと一緒に過ごし、簡単なあいさ

つを教えてもらったことが日本との最初の出会いです。「日本語はまだ勉強中ですが、新しい単語を知ったり漢字を学んだりすることはとても楽しいです」と話す。

1年前に学校の作文のクラスの手伝いを体験し、人に教えることの喜びに目覚めたというリアム先生。「ずっと憧れていた日本で、ALTになれてとてもうれしいです。子

どもたちみんなの顔を早く覚えて、みんなが英語を話せるように授業などを通してお手伝いしたいです」と笑顔を見せる。「情熱を持って学習に取り組むことが、英語をはじめとする語学を修得するためには大切です。英語を話せば、もっとたくさんの人と出会うことができ、自分の世界を広げることができます」とリアム先生。「子どもたちには、楽しみながら多くのことを学べる英語の授業を通して、自ら学んで話したくなるように自信を持たせてあげたいです」と子どもたちの将来を見つめる。

趣味の自転車で、甲佐の美しい景色を眺めることも楽しいの1つというリアム先生。「朝会えば、必ず『おはようございます』とあいさつしてくれるなど、日本人はとても親切で大好きです。甲佐町に來たこと、住民の皆さんとのたくさんのお会いが待っていることがとても幸せで、非常に楽しみです。一緒に楽しく学びましょう」と、子どもたちとの授業を思い描く。

広報 こうさ

2015年（平成27年）9月号
通巻554号